

旧街道を活用した地域づくり

様式2



会津若松建設事務所
企画調査課
技師 國分 俊和

「歩く県道」の道普請

施工場所:河沼郡会津坂下町大字東松地内 外

1. はじめに

会津若松建設事務所管内

※予算の縮減等により整備は困難
一方で古来より街道として利用
された歴史ある道
活用の方法はないか…



7区間の交通不能箇所

二街道、四峠を「歩く県道」として活用

- 越後街道…東松峠
 - ・歴史の道百選にも選ばれている街道
 - ※歴史の道百選…文化庁が選定した歴史の道
全国78の道が選定
- 銀山街道…銀山峠
美女峠
吉尾峠
 - ・銀の運搬路として利用された街道
 - 巡見使が通った記録が残っている
 - ※巡見使…江戸幕府により各地の大名・
旗本の監視と情勢調査の
ために派遣された上役

2. 目的

「歩く県道」を人々の交流の場として活用

それぞれの街道において地域づくり団体と協力
関係する団体は約15団体

<概念>

地域でよみがえらせる道
地域をよみがえらせる道

人々が歩くことで

- …出会いや交流が生まれる
- …歴史を継承する気持ちを生む
- …自然を感じ慈しむ心を生む
- …人が集い活気を生み出す

「歩く県道」を実現するための県の取組 → 「道普請」

3. 道普請の取組

※道普請…道の整備・保全のための
共同作業のこと

①現地調査

②意見交換会

③道普請



- ・全ての峠を確認
- ・要対策箇所の調査
- ・昨年の施工の状況を確認



- ・対策箇所・工法を検討
- ・学生からの工法提案も



- ・大水で沢の側面が浸食
- ・雪で木橋が破損



- ・人力で整備
- ・沢止工で浸食防止＋
新たな木橋を整備

- 講師に東北芸術
工科大学田賀准
教授を招聘
- OJTとして全土木
部技術職員へ募集
- 道普請には地元、
ボランティア、学生、
行政、**合計203名**
が参加

4. 地域の取組

○東松峠・・・ウォーキング大会=150名以上が参加

◎参加された方の声

- ・「参加する度に整備されていくので、毎年歩くのが楽しみ」
(千葉県から参加された方)
- ・「自分の作った道が利用されてうれしい」(道普請参加の学生)



○銀山街道・・・ウォーキング大会(各峠計)=約90名が参加 ロングトレイル事業=約40名が参加

(3つの峠が連携し、新たな観光資源として活用)

第1回銀山街道ロングトレイル=2泊3日の行程で街道を歩く(総延長72km)

- ・コース=道普請で整備した道
- ・食事=巡見使料理の提供(文献から再現)
- ・ガイド=地元の方 街道の歴史や文化、自然を紹介



※ロングトレイル・・・登山道、林道、古道など自然歩道を歩きながら、歴史や食文化なども楽しむこと

◎参加された方へのアンケート結果

- ・次回も参加したい(85%)
- ・コースが歩きやすい(46%)
- ※今年から整備開始の吉尾峠への意見
- ・道普請の取組について良い企画だと思う(100%)

【課題】

ほぼ予定通りの応募があったが、さらに広報の方法を検討する必要あり

5. 市民普請大賞への参加

市民普請大賞=土木学会が、『市民が主導的な役割を果たしながら、地域を豊かにするために実践する公共のための取組み』を応援・顕彰するために創設した賞

- ・全78団体が応募
- ・一次選考通過は33団体
- ・「歩く県道」の取組を地元の方と一緒にPR
- ・結果は「入賞」



6. おわりに

今後の取り組み

○東松峠・・・落盤で昭和中期交通不能になった洞門の有効活用

- ・地元民により掘削された洞門(236m)
- ・洞門前に休憩施設を整備

○銀山街道・・・ロングトレイルの恒常的コースへ底上げ

○県・・・道普請の活動等により、継続してサポートしていく

